

令和 6 年度

事業評価書

建設経済部 水道課

## 令和6年度 事業評価書

事業概要 日間賀島地区漁業集落排水施設の建設及び建設後の管理運営を行います

担当課 水道課  
内線163・165

予算科目 漁業集落排水事業会計

予算額	204,039千円	財源内訳	一般会計補助金・出資金	62,087千円	その他	141,952千円
-----	-----------	------	-------------	----------	-----	-----------

決算額	201,585千円	財源内訳	一般会計補助金・出資金	50,709千円	その他	150,876千円
-----	-----------	------	-------------	----------	-----	-----------

計画 (PLAN)

主な事業	施設管理事業	建設改良事業
事業内容	日間賀島浄化センター及びマンホールポンプの維持管理に努めます。	管路・処理場等の設備改良工事を実施し、施設の延命化を図ります。
基本施策①	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ
基本施策②		
基本施策③		
重点政策	1 2 ③	1 2 ③

評価 (CHECK)

事業指標	健全な事業経営を行うための使用料収納率向上	施設改良工事による施設の延命化
目標値	収納率 9.8 %	整備取替 7箇所
実績値	収納率 9.8 %	整備取替 7箇所
達成度	達成	達成
担当課評価 ※③	全期滞納分は(20世帯、60件、610,795円)、過年度滞納分はH22～H30年度の(3世帯、43件、421,117円)であり納付計画書に基づき分割納付されています。	浄化センターの設備更新を進めることができました。引き続き、機能保全計画を基に適正な維持管理を図ります。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

実施 (DO)

主な事業	施設管理事業	建設改良事業
予算額	60,636,000円	40,480,000円
決算額	54,747,384円	39,451,500円
財源（一般財源）		
(その他)	54,747,384円	39,451,500円
執行率	90.3%	97.5%
事業実績	浄化センター汚泥搬出委託料 浄化センター電気保安管理委託料 浄化センター等緊急出動委託料 浄化センター草積込運搬業務委託料 管路等清掃業務委託料	管路新設工事 処理場等設備改良工事

改善 (ACTION)

課題	使用料で維持管理費を賄えていない中、施設の老朽化に伴い委託料、修繕料の増加が見込まれます。	施設の老朽化が進行しており、今後建設改良費（改修費）が増加が見込まれるが、工事費の確保が困難です。
改善・対応策	委託業務の内容を適宜精査し、維持管理費（委託料、修繕費）の縮減に努めます。	更新計画（機能保全計画）を基に、国庫補助を利用し、工事を行い、老朽化した設備の更新を図ります。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照

※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援

※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価

※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低（効率性）…事業の費用対効果の高低

※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

## 令和6年度 事業評価書

事業概要 水道施設の適切な維持管理及び管路の耐震化に努めます

担当課 水道課

内線163・164

予算科目 水道事業会計

予算額 1,536,210千円 財源内訳 一般会計補助金・負担金

55,194千円 その他 1,481,016千円

決算額 940,771千円 財源内訳 一般会計補助金・負担金

52,241千円 その他 888,530千円

計画 (PLAN)

主な事業	施設保守点検整備事業	管路更新・耐震化事業
事業内容	水の安定供給を図るため、施設等の維持管理に努めます。  水質検査業務 水道施設機器点検業務 量水器取替業務 水道施設維持修繕 漏水調査業務	主要管路の耐震化により、水の安定供給を図ります。
基本施策①	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ
基本施策②		
基本施策③		
重点政策	1 2 ③	1 2 ③

評価 (CHECK)

事業指標	水道施設点検及び漏水調査等による水の安定供給	基幹管路の耐震化 (基幹管路非耐震化残=15,846m)
目標値	有収率90%	当該年度耐震化延長 L=325.5m
実績値	有収率81.9%	当該年度耐震化延長 L=325.6m
達成度	未達成	達成
担当課評価 ※③	未達成であったため、引き続き、漏水調査業務を実施し、不明水量の発見に努めます。	管路耐震化は住民のライフラインの強化に必要不可欠であるため、引き続き実施する必要があります。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い

実施 (DO)

主な事業	施設保守点検整備事業	管路更新・耐震化事業
予算額	75,704,000円	116,384,000円
決算額	73,141,072円	104,044,600円
財源 (一般財源)		
(その他)	73,141,072円	104,044,600円
執行率	96.6%	89.4%
事業実績	水質検査業務 每月実施 水道施設機器点検業務 12箇所 量水器取換業務 1,178件 水道施設維持修繕 122箇所 漏水調査業務 管路延長L=69.6km	基幹管路非耐震化15,846mの内 岩屋配水区管路耐震化工事 DCIP-GX φ200 L=325.6m 海底送水管布設関係実施設計3件 を実施

改善 (ACTION)

課題	地下漏水箇所の発見が困難です。	水道基本計画に基づき、管路耐震化事業を実施しているが、多大な工事費が必要なため、更新が進まない。また、基幹管路以外の老朽化した水管橋や配水管の布設替えについても未着手です。
改善・対応策	毎日、夜間最低水量を監視する。また、変動が大きい地区を中心に漏水調査を実施する。	事業計画と水道料金を見直し、更新を進めること。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照

※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援

※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価

※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低

※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討